

REHAMO

リハモ

前腕支持型歩行車

取扱説明書



Nabtesco

はじめに

この度は、前腕支持型歩行車 REHAMO をご購入いただき、誠にありがとうございます。

- ・はじめに本書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
- ・お読みになった後は、必要な時にいつでもご覧になれるよう、お手元で大切に保管してください。
- ・本書には保証書も含まれていますので、紛失または汚損しないようご注意ください。

製品改良のため、本書に記載している仕様の一部を予告なく変更することがあります。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分し、説明しています。

 警告	取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合を示しています
 注意	取扱いを誤った場合、傷害を負う危険な状態が生じることが想定される場合を示しています
注記	取扱いを誤った場合、物的損害のみが発生することが想定される場合を示しています

お守りいただく内容の種類を、下記の記号で区分し、説明しています。

	製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する内容を示しています
	製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為の内容を示しています

その他、知っていると役立つ事項などを、次の記号で区別し、説明しています。

 ポイント	製品の取扱いにおいて、正しい操作方法や知っていることに立つ事項を示しています
---	--

安全上のご注意

■ 本体に関する取扱注意

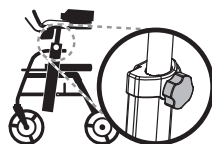
警告

準備・保管



使用前にねじやノブが緩んでいないか確認する

使用中に部品が外れると、転倒などの事故につながるおそれがあります。



折りたたみ部の開閉時には、可動部に手を挟まないようにする

可動部に手が挟まれると、けがをするおそれがあります。



本体を分解・改造しない

思わぬ事故や機器の故障につながるおそれがあります。



使用前に以下のことを確認する

- ・本体が確実に開かれている
- ・駐車ブレーキが解除されている

歩行



アームレストを使って本体を操作するときは、アームレストに腕をしっかりと置く

アームレストから腕を浮かせていると、本体のバランスが崩れ、転倒するおそれがあります。



滑りやすい路面や濡れた路面で使用しない

積雪路面・凍結路面・雨天時などの水で濡れた路面などで使用すると、本体がスリップして、事故につながるおそれがあります。

歩行



急な坂道で使用しない

転倒などの事故につながるおそれがあります。



エスカレータでは使用しない

バランスを崩し事故につながるおそれがあります。



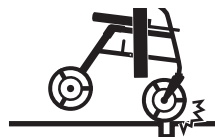
傾斜地に駐車しない

転倒などの事故につながるおそれがあります。



小さい溝にタイヤがはまり込まないように注意する

踏切やエレベータなどの小さい溝にタイヤが引っかかると、転倒するおそれがあります。



座面に座るときは以下の項目を守る

- 駐車ブレーキを掛ける
- 安全な場所(平地)で使用する

坂道での駐車や、駐車ブレーキを掛けずに座面を使用すると、本体が勝手に動き出し、転倒するおそれがあります。

座面に座るときは必ず平地で駐車ブレーキを掛け、左右の後輪がロックされていることを確認してください。



座面や収納バッグの中に乳幼児やペットを乗せない

乳幼児やペットを乗せると、バランスを崩し事故につながるおそれがあります。



座面に人が乗っている状態で歩行しない

人を座面に乗せたまま歩行すると、バランスを崩し事故につながるおそれがあります。



グリップ部やアームレストに荷物をかけない

バランスが崩れ、転倒するおそれがあります。



⚠ 注意

準備・保管



体調が悪いときには使用しない

使用前に、本体を安全に操作できる体調が確認してください。



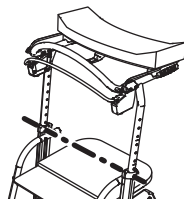
本体を持ち上げるときは、フレームを持つ

タイヤや折りたたみ部を持つと、可動部に手を挟みけがをするおそれがあります。



左右のハンドルの高さは同じ位置に合わせる

左右のハンドル高さが異なると、バランスを崩し、転倒するおそれがあります。



折りたたみ開閉時には、必ず駐車ブレーキを掛ける

駐車ブレーキを掛けずに作業をすると、本体が勝手に動き出し、事故につながるおそれがあります。



本体は、安全な場所に保管する

本体を折りたたんで自立させた状態で、人や物がぶつかると転倒などの事故につながるおそれがあります。

周囲の環境に注意して保管してください。

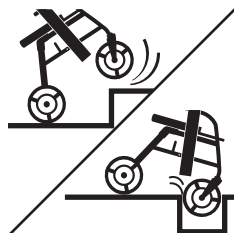


歩行



- 大きな段差のあるところでは使用しない
- 溝のあるところでは使用しない

溝や段差を無理に乗り越えようとすると、バランスを崩し、事故につながるおそれがあります。



- 砂場や泥・水溜りのある路面では使用しない
- タイヤがひどく汚れると、ハンドブレーキの効きが悪くなります。



- 以下のような場所・場面では、周囲をしっかりと確認する

- 交通量の多い場所
- 混雑している場所
- 夜間の歩行
- 暗く足元などが見えにくい所

接触などにより、事故につながるおそれがあります。周囲には十分注意して使用してください。



- 座面使用中、背面にもたれるときは、体重をかけすぎない

バランスが崩れ、転倒するおそれがあります。



- 本体から離れるときは、駐車ブレーキを掛ける

駐車ブレーキを掛け忘れると、本体が勝手に動き出し、事故につながるおそれがあります。



- アームレストを上げて歩行するときは、振動などで倒れてこないよう注意する

アームレストが倒れると、指などを挟みけがををするおそれがあります。



注 記



収納バッグに入れる荷物は6kgを超えない
重たいものを入れると、収納バッグが破損するお
それがあります。



・アームレストを上げた状態で、体重を掛け
ない
・駐車ブレーキレバーに体重を掛け
ない
本体が破損するおそれがあります。



・本体を水洗いしない
・本体に薬品を使用しない

水洗いや薬品を使用しての手入れは、さびや劣
化の原因になります。汚れは水滴が落ちなくなる
まで固く絞った布で拭いてください。



アームレストストッパに荷物などをかけない
ストッパ破損のおそれがあります。

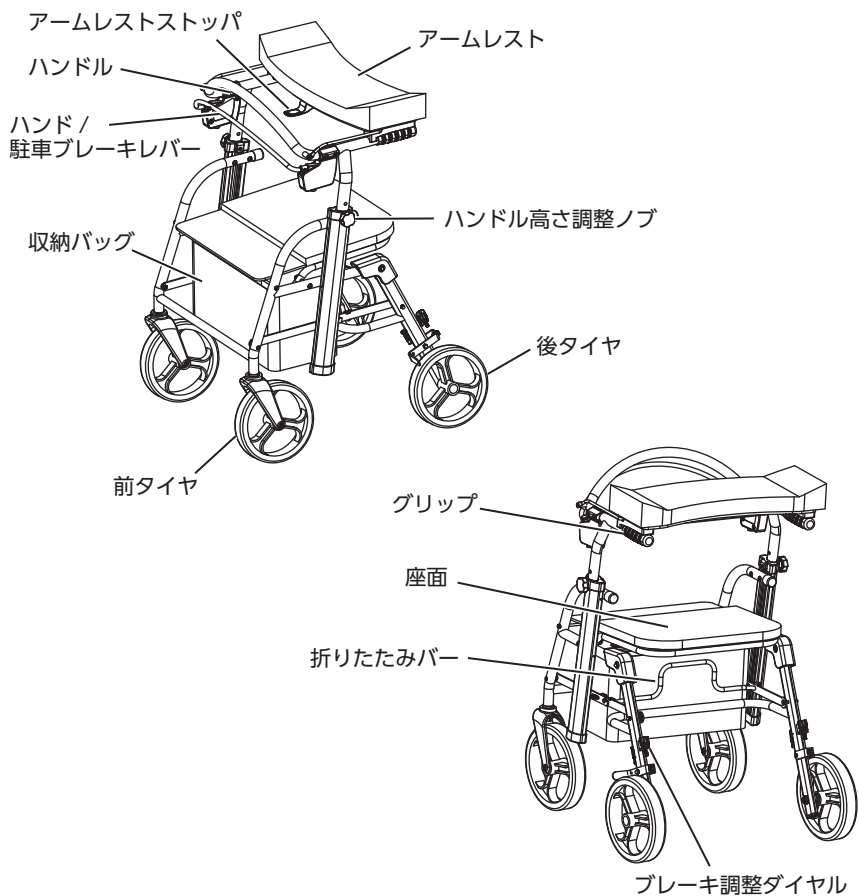


もくじ

はじめに.....	1	本体の使い方.....	14
安全上のご注意.....	2	本体の操作.....	14
本体に関する取扱注意.....	2	● 歩行前の確認事項.....	14
各部の名称.....	8	● 操作方法.....	15
各部の名称.....	8	本体の座り方.....	16
本体の調整.....	9	収納バッグの使い方.....	17
ハンドル高さ調整.....	9	保守・点検.....	18
ハンド / 駐車ブレーキ力 の調整.....	10	日常の点検内容.....	18
ブレーキの使い方.....	11	日常のお手入れ.....	19
ハンドブレーキの操作.....	11	保管上のご注意.....	21
駐車ブレーキの操作.....	11	収納場所について.....	21
本体の開き方.....	12	故障かな?.....	22
本体の折りたたみ方.....	13	製品仕様.....	23
		保証とアフターサービス について.....	24
		保証規定.....	24
		● ご注意.....	24

各部の名称

■ 各部の名称



本体の調整

■ ハンドル高さ調整

歩行者に合わせ、ハンドルの高さを調整します。

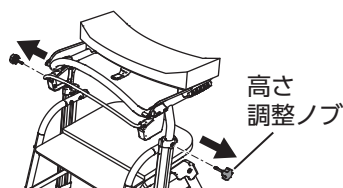


注意

左右のハンドルの高さは同じ位置に合わせる

左右のハンドル高さが異なると、バランスを崩し、転倒するおそれがあります。

- 1 左右のハンドル高さ調整ノブを緩め、取り外します。



- 2 歩行しやすい高さの穴に位置を合わせます。(10段階)



ポイント

左右の高さは、くぼみを目安に位置を合わせてください。

- 3 左右のハンドル高さ調整ノブを締め付け、固定します。



注意

高さ調整ノブは、しっかりと締め付ける

歩行中に高さ調整ノブが外れると、バランスを崩し事故につながるおそれがあります。

■ ハンド/駐車ブレーキ力の調整

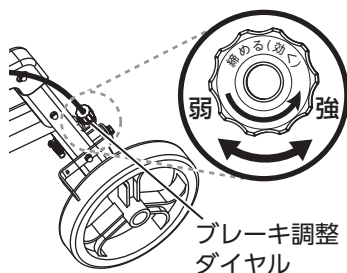
ハンド / 駐車ブレーキ力が弱まったときは、ブレーキ力を調整してください。

- 1 左右のハンドブレーキ調整ダイヤルを指で反時計回りに回し、ブレーキ力を強めます。



ポイント

左右のブレーキ力の強さが均等になるよう調整してください。



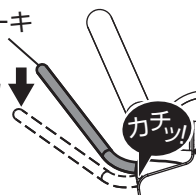
- 2 駐車ブレーキおよびハンドブレーキを掛け、ブレーキ力が回復しているか確認します。

ブレーキ力が回復していない、または左右のブレーキ力に差があるときは、1に戻り調整してください。

駐車ブレーキ

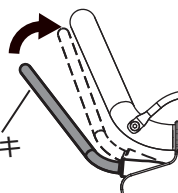
ハンドブレーキレバー

ロック



ハンドブレーキ

ハンドブレーキレバー



ブレーキの使い方

■ ハンドブレーキの操作

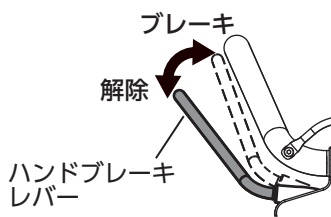
歩行中、本体を一時停止させる場合はハンドブレーキを使用します。

〔停止方法〕

ハンドルを持ちながら、ハンドブレーキレバーを両手で握ります。
後タイヤにブレーキがかかります。

〔解除方法〕

ハンドブレーキレバーから指を放します。

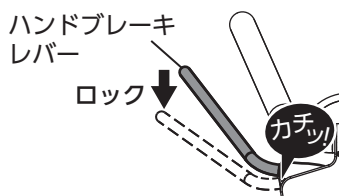


■ 駐車ブレーキの操作

歩行するとき以外は、駐車ブレーキを使用しタイヤをロックします。

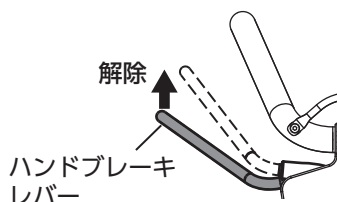
〔ロック方法〕

ハンドブレーキレバーをカチッと音がするまで下側に押しします。
後タイヤがロックされます。



〔解除方法〕

ハンドブレーキレバーを上側に引きします。
タイヤのロックが解除されます。



本体の開き方



警告

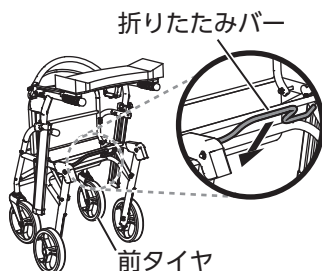
折りたたみ部の開閉時には、可動部に手を挟まないようにする
可動部に手が挟まれると、けがをするおそれがあります。



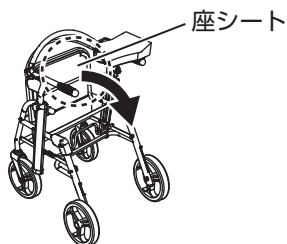
注意

本体を開くとき、駐車ブレーキを解除しない
駐車ブレーキを掛けずに作業をすると、本体が勝手に動き出し、
事故につながるおそれがあります。

- 1 折りたたみバーを持ち、右図の矢印の方向を参考に、前タイヤ側に押します。



- 2 座面を下げます。



- 3 本体が確実に開いているか、確認します。



本体の折りたたみ方



警告

折りたたみ部の開閉時には、可動部に手を挟まないようにする
可動部に手が挟まれると、けがをするおそれがあります。

1 駐車ブレーキを掛けます。

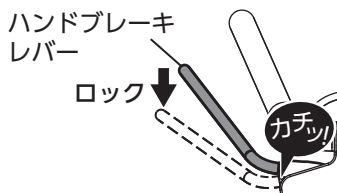


注意

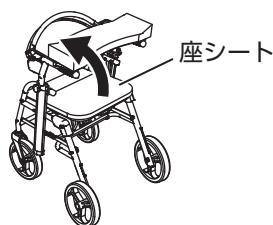
本体を折りたたむときは、必ず駐車ブレーキを掛ける
駐車ブレーキを掛けずに作業をすると、本体が勝手に動き出し、事故につながるおそれがあります。

ハンドブレーキ
レバー

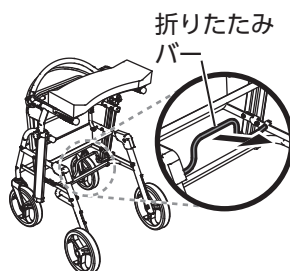
ロック



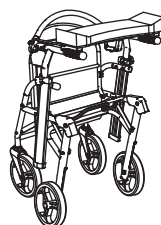
2 座面を上げます。



3 折りたたみバーを持ち、右図の矢印の方向を参考に、後側に引きます。



4 本体が確実に折りたたまれているか、確認します。



本体の使い方

■ 本体の操作

本体を正しく操作するために、安全上のご注意（P2 参照）および本項目を確認してください。

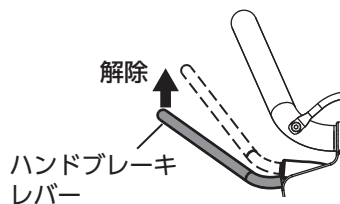
● 歩行前の確認事項

歩行前に、必ず以下の項目を確認してください。

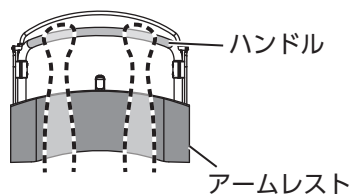
1	本体が確実に開いている
2	座面は下りている
3	ハンドルの高さは左右同じである（P9 参照）
4	各部のねじやハンドル高さ調整ノブに緩みがない
5	タイヤは汚れていない
6	グリップ部やアームレストに荷物を置いていない
7	本体を安全に操作できる体調である

● 操作方法

- 1 駐車ブレーキのロックを解除します。



- 2 ハンドルを両手でしっかりと握ります。



注意

アームレストを使って本体を操作するときは、アームレストに腕をしっかりと置く。アームレストから腕を浮かせていると、本体のバランスが崩れ、転倒するおそれがあります。

- 3 ゆっくりと歩行します。



■ 本体の座り方

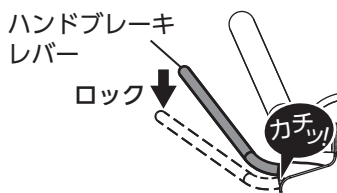


座面に座るときは、安全な場所（平地）で駐車ブレーキを掛けて使用する
坂道での駐車や、駐車ブレーキを掛けずに座面を使用すると、本体が勝手に動き出し、転倒するおそれがあります。

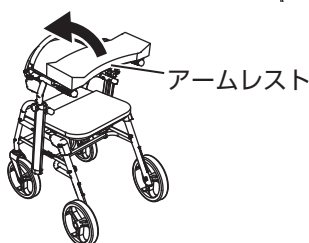


座面を使用するときは、後タイヤ側が前方になります。

- 1 安全な場所（平地）であることを確認します。
- 2 駐車ブレーキをロックします。



- 3 アームレストを上げます。



- 4 座面が下りていることを確認し ゆっくりと座ります。



- グリップ部を使用するときは左右均等に体重をかける
- 背面にもたれるときは体重をかけすぎない
- 勢いをつけて座らない

本体の一部分に体重をかけすぎると、バランスが崩れ、転倒するおそれがあります。



■ 収納バッグの使い方

歩行中の荷物は収納バッグに入れてください。



収納バッグの中に乳幼児やペットを乗せない

乳幼児やペットを乗せると、バランスを崩し事故につながるおそれがあります。

注 記

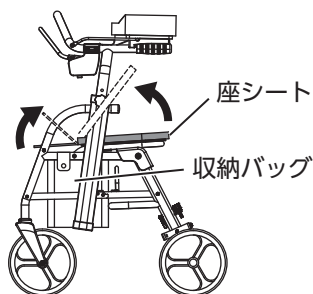
収納バッグに入れる荷物は 6kg を超えない

収納バッグが破損するおそれがあります。

〔 収納バッグの取扱方法 〕

荷物は前方後方どちらからも入れられます。

荷物を出し入れするときは、座シートを上げてください。



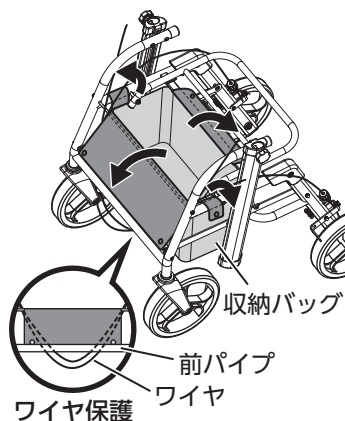
〔 収納バッグの取付方法 〕

右図を参考に、収納バッグの前後左右の取付部をフレームに掛けて、ボタン（6 か所）で固定します。



ポイント

- 前方の取付部は、ワイヤ保護のためワイヤを包み込むように固定してください。
- ワイヤが前に飛び出さないよう、前パイプの後側に収めてください。



保守・点検

■ 日常の点検内容

安全にご使用いただくために、定期的に点検してください。

本製品には寿命があります。長期使用しているものは、十分な点検を行ってください。



- 点検で異常が見つかった場合は、使用を止める
異常のある状態で使用し続けると、転倒などの事故につながるおそれがあります。 **お買い上げの販売店に連絡してください。**
- 日常点検と併せて、1年ごとに定期点検を受ける
本製品をより安全に使用するために、1年ごとに定期点検を受けてください。
ただし、消耗品が消耗してきた場合は、使用期間に関係なく早めに交換してください。
点検をしなかった場合、または消耗した部品を使用し続けた場合、思わぬ事故や機器の故障につながるおそれがあります。



- 作業中は、フレームなどの可動部に手を挟まないよう注意する
- 締結部品（ボルトやナット）を緩めない

点検項目	チェック
駐車ブレーキおよびハンドブレーキを操作すると、タイヤが確実にロックする（P11 参照）	
歩行中にきしみ音やこすれ音などの異常な音はしない	
歩行中に車輪が大きく振れない	
各部のボルトやナットは緩んでいない	
タイヤの表面は汚れていない	
下記部位に異常（ガタ・変形・ひび割れ・劣化など）がない ・ タイヤ ・ アームレスト ・ 座面 ・ フレーム	

■ 日常のお手入れ

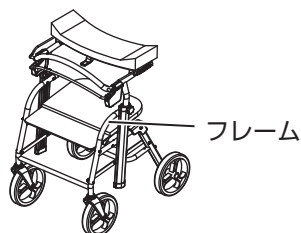
日常のお手入れは欠かさず行ってください。

お手入れ前に、安全上のご注意をよく読み、理解してから行ってください。(P2 参照)

〔フレームのお手入れ〕

フレームを乾いた布で拭いて、汚れを取り除きます。

手入れを怠ると、さびることがあります。フレームのお手入れは定期的に行ってください。

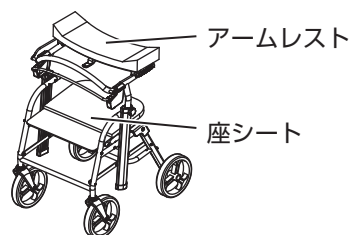


注 記

フレームを拭くときは乾いた布を使用する
水や薬品を使用すると、さびの原因になります。

〔アームレスト / 座面のお手入れ〕

アームレストや座面が汚れたときは、水を含ませ固く絞ったタオルなどですぐに拭き取ってください。



注 記

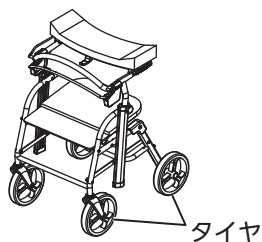
- 使用する布は、水滴が落ちなくなるまで固く絞る
アームレストや座面以外に水がかかると、さびや故障の原因になります。
- 薬品を使用しない

[タイヤのお手入れ]

タイヤが汚れたときは、水を含ませ固く絞ったタオルなどですぐに拭き取ってください。

注 記

- 使用する布は、水滴が落ちなくなるまで固く絞る
- 薬品を使用しない



保管上のご注意

本体を使用しないときは、必ず**駐車ブレーキを掛けてタイヤをロック** (P11 参照) してから保管してください。

本体の収納場所が狭い場合は、折りたたんで収納することも可能です。
(P13 参照)

■ 収納場所について

注 記

車のトランクなどの高温になる場所には保管しない
本体が故障するおそれがあります。

以下の条件を満足する屋内に保管してください。

収納場所条件

- | | |
|--------------------|----------------|
| • 雨や水がかからない場所 | • 砂埃などがかからない場所 |
| • 湿度が低い場所 | • 子供が遊ばない場所 |
| • 直射日光が当たらない場所 | • 平らな場所 |
| • 温度が 0 ～ 40℃以内の場所 | |

故障かな？

本製品をご使用中に故障かなと思われたときは、以下の項目を確認してください。

症状：後タイヤのロックが解除できない

原 因	対処方法	参照
駐車ブレーキがかかっている	駐車ブレーキを解除してください	P11

症状：ハンドブレーキが効かない

原 因	対処方法	参照
ブレーキワイヤが切れている	使用を中止し、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください	—
ハンドブレーキ力が弱くなっている	ハンドブレーキ力を調整してください	P10

症状：異音がする

原 因	対処方法	参照
タイヤの軸に何か挟まっている	挟まっているものを取り除いてください	—
上記以外	使用を中止し、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください	—

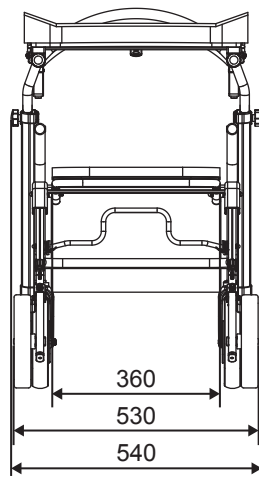
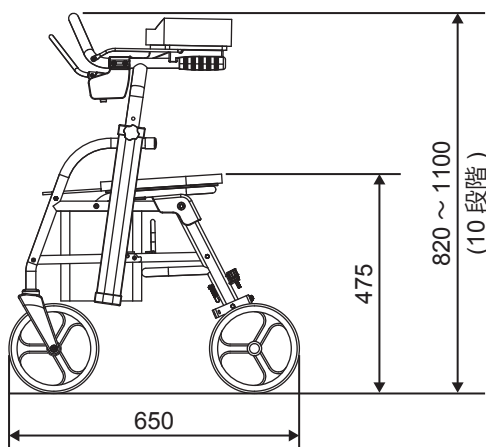
症状：タイヤが大きく振れる

原 因	対処方法	参照
ボルト・ナットが緩んでいる	使用を中止し、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください	—

製品仕様

名 称	REHAMO
型 式	NR-8A-TA- 種別
本体外形寸法 (奥行×全幅×高さ) ※高さ：アーチ型ハンドルパイプ部	650 × 540 × 820 ~ 1100mm (10 段階調整)
アームレスト高さ	770 ~ 1050mm (10 段階調整)
折りたたみ寸法 (奥行×幅×高さ)	400 × 540 × 850mm
座面高さ	475mm
座面幅	360mm
重 量	9.4kg
最大使用者体重	100kg
収納バッグの最大積載重量	6kg
キャストサイズ	8 インチ
後タイヤサイズ	8 インチ
フレームの材質	アルミ
折りたたみ方法	前後折りたたみ (自立保管可)
標準装備品	収納バッグ

単位：mm



保証とアフターサービスについて

■ 保証規定

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。当該製品の当社での修理により取付け、据付けなどをした修理部品については、修理完了日から 6 か月間保証します。

本製品が保証期間内に自然故障をした場合は、無償で修理いたします。ご使用中に万一故障した場合は、**お買い上げの販売店**にご連絡ください。

ただし、以下の場合は保証期間内であっても、無償修理の対象外とさせていただきます。

- ア) 取扱方法の誤りによる故障
- イ) 落下・圧迫・衝撃などによる故障
- ウ) 手入れ不良による故障
- エ) 製品の分解、または改造による故障
- オ) 専用の部品以外を使用した場合
- カ) 自然災害など、外的要因による故障
- キ) 消耗品や、各部の劣化による故障および損傷
- ク) 仕様・性能の限度を越える使用をした場合
- ケ) 保証書の提示がない場合

● ご注意

- ・ 利用者の急激な体調の変化など、利用者側の事情や、本書記載の警告、注意事項に反するご使用により、事故が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・ 本製品の故障、またはその使用により生じた直接、間接の障害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・ 一度ご使用になった商品は、原則として交換いたしません。
- ・ 実費修理に要する運賃などの諸経費は、お客様負担とさせていただきます。

保証書

この保証書は、当社保証規定に基づき、明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。

* 印がついている項目に必要な事項を記入してください。

商品名	前腕支持型歩行車 REHAMO		
型式品番	NR-8A-TA- 種別		
製造番号			
保証期間	お買い上げ日より 1 年間		
お客様 (*)	お名前		
	〒 ご住所		
	電話番号		
販売店 (*)	店名・住所		
	電話番号		

※本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

※本保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

製造元

お問い合わせ先

TEL: 078-413-2724

営業時間: 9:00 ~ 17:00
(土日祝休み)

FAX: 078-413-2725

ナブテスコ 株式会社

住環境カンパニー 福祉事業推進部

〒 658-0024

兵庫県神戸市東灘区魚崎浜町 35

<http://welfare.nabtesco.com>